

## 【あきたこまち、他品種とも初期生育は良好】

### 1. 水稻の生育状況

本年の田植えは5月15日頃より開始され、強風による代枯れ症状や表層剥離等が目立ったものの、5月下旬以降気温が高めに推移し現在は回復傾向にあります。

「あきたこまち」の生育は現在「分けつ始期」で、田植時期が本年とほぼ同時期であった前年との比較では、草丈、茎数とも上回っており、**『初期生育は概ね良好』**となっております。

また、田植え後の強風や低温による影響で初期生育が停滞した一部の品種を除き、他の品種においても、初期生育は良好となっております。

水稻定点調査圃の生育状況(6月8日)

品種(平均)	草丈(cm)		茎数(本/m <sup>2</sup> )		葉齢(葉)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
<b>あきたこまち</b>	<b>25.4</b>	25.0	<b>102</b>	104	<b>5.5</b>	5.9
(慣行)	24.9		97.7		5.3	
(側条ペ-スト等)	25.8		105.0		5.7	
<b>前年比</b>	<b>103 %</b>		<b>106 %</b>		<b>±0.0 葉</b>	
平年比	102 %		98 %		-0.4 葉	
<b>たつこもち</b>	<b>28.9</b>	26.9	<b>131</b>	111	<b>5.9</b>	5.9
<b>きぬのはだ</b>	<b>24.4</b>	27.5	<b>82</b>	110	<b>5.8</b>	5.9
<b>ときめきもち</b>	<b>24.3</b>	26.4	<b>115</b>	101	<b>5.8</b>	5.6

### 2. 今後の技術対応

#### 1) 水管理

表層剥離の発生が多く見られる圃場については、水の入替えや浅水管理を実施し、茎数確保に努めてください。

#### 2) 還元障害対策

還元障害(ガス害)による酸素不足で分けつの発生等が少ない圃場では、晴天日に3日～4日程度落水し、その後入水するなど改善に努めてください。

#### 3) その他病虫害防除

現在、イネドロオイムシやイネミズゾウムシによる葉の食害が見受けられます。食害が見られた場合は、つぎの薬剤を散布し防除に努めてください。【トレボン粉剤 3 kg / 10a、トレボン粒剤 2～3 kg / 10a】

#### 4) [いもち病対策]

補植用苗を長く圃場に置くと、いもち病の発生原因となりますので、**速やかに補植を終了し、苗を処理**してください。

また、今年は予約分以外のオリゼメート剤、ルーチン剤の在庫がほぼありませんので、ご了承ください。